

武家屋敷「春蘭亭」

1. 建物の経過

慶長9年(1604年)登米伊達初代藩主相模宗直公が岩手県水沢城から登米に移るに供い、移住した鈴木家の屋敷で創建年代は不詳であるが、江戸中期から後期にかけての建物で200年以上前のものです。

平成元年(1989年)まで持ち主の方が住んでいましたが後、町に寄贈され保存修理後囲炉裏を囲んだ喫茶コーナーを設け、平成2年(1990年)にオープンしました。

春蘭亭(しゅんらんてい)の名の由来は、この地に自生する春蘭を加工した「春蘭茶」を提供することから名付けられました。

2. 常設展示の内容

- ・戦の際に使用した鉄兜、ほう当て、槍などの武具。
- ・鏡台、手鏡その他生活用具。

3. みどころ

- ・正門をくぐると屋敷の奥まで見通せ、武家屋敷の格調が感じられます。
- ・黒く堂々とした梁、古い家具や道具がやさしく語りかけ心を和ませてくれます。
- ・春、見事な枝垂れ桜、秋には真っ赤な紅葉、縁側に干した干し柿、日本の風土に育まれた、かやぶきの屋根。四季を通して薪を焚く囲炉裏を囲むと懐かしさがそこにある、そんな安らぎのある場所です。

4. 裏情報(施設の出来事等)

- ・運がよければ庭で小鳥の水遊びが見られます。
- ・毎年、4月29日(みどりの日)とよま茶会が開催されます。
茶会を春蘭亭の前庭でも行う年もあります。
天気の良い日は、庭に出てお茶などを楽しんではいかがでしょうか。

5. 体験

- ・昔、かやぶき職人達が仕事の合間に不要になった竹を利用して、作っていた「招福かざぐるま」、ご予約頂ければ製作体験も可能です。

対 象 小学校高学年以上

体験時間 1時間 ~ 2時間(時間に合わせて工程が調整できます。)

体験料金 一人・400円(材料費含む。)

人 数 5名様以上でお願いします。

6．その他(おすすめ品・販売グッズ等)

喫茶コーナー

- ・こだわりの和菓子かずんだ餅のお好きな方を選べます。

抹茶セット 400円

春蘭茶セット 400円

- ・春、屋敷の周りに咲き乱れる春蘭の花のエキスが入っています。

春蘭ソフトクリーム 250円

コーヒー 300円

甘 酒 300円

- ・果肉がたっぷり入った特製ジュースです。(期間限定 6月～11月頃まで)

いちごジュース 400円

販売グッズ

- ・煤竹(すすたけ)で作った茶杓、一輪ざしを始めかまどや囲炉裏の煙で時間をかけて作った竹細工製品など。